

各 位

会 社 名 ポラリス・ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 梅木 篤郎  
(コード番号：3010 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役兼最高財務責任者 細野 敏  
(TEL:03-5822-3010)

### 2023年3月期第2四半期決算補足説明資料

本日、当社は2023年3月期第2四半期決算短信を開示させていただきました。開示させていただきました当該四半期決算短信の補足説明、今後の事業展開等につきまして、以下の資料及び動画によりご説明申し上げますので、是非ご覧ください。

説明資料：「2023年3月期第2四半期決算補足説明資料」

説明動画：<https://youtu.be/NRX1J4FJv3c>

以 上

ポラリス・ホールディングス株式会社  
決算補足説明資料  
2023年3月期第2四半期

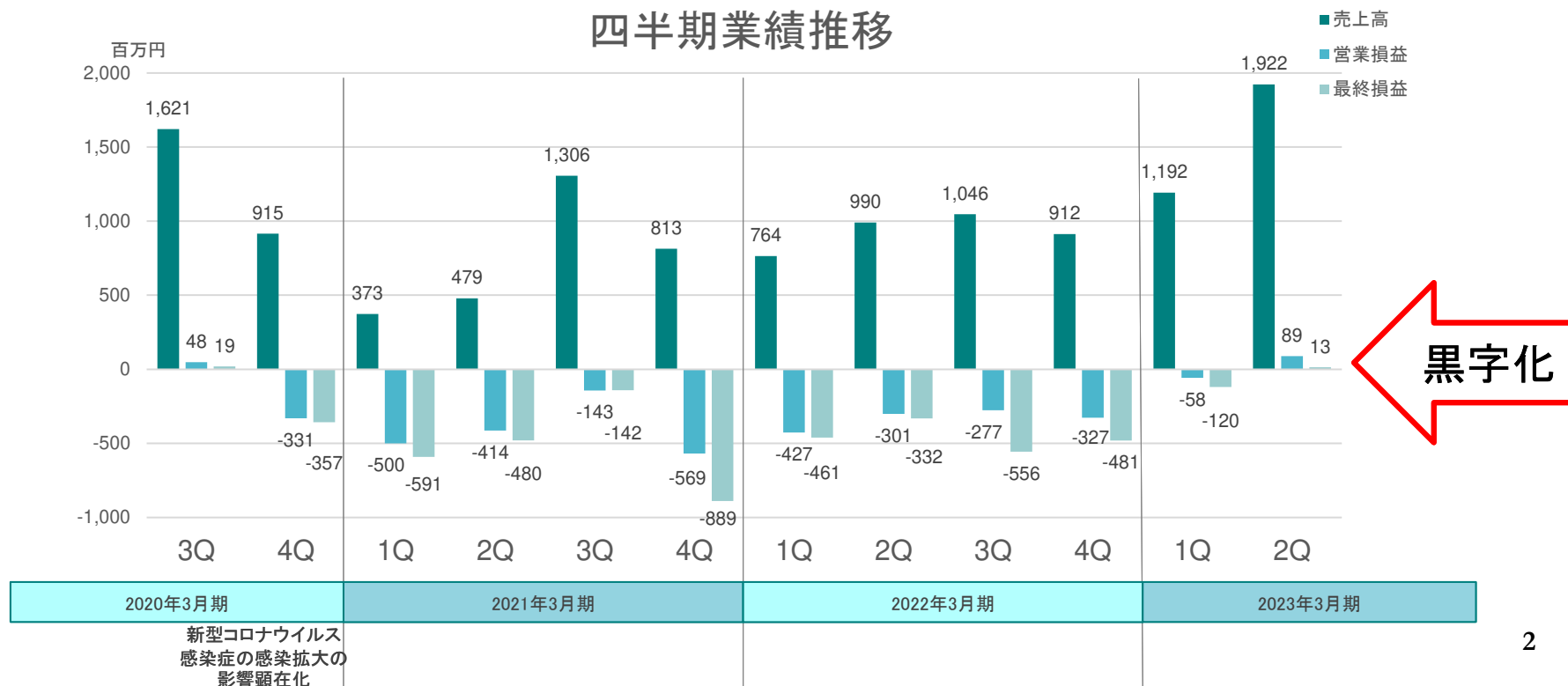
P  L A R I S  
HOLDINGS



# 2023年3月期第2四半期 決算ハイライト

- 当四半期は前年同期比で増収増益となり、四半期では最終損益で黒字化を達成
- 既存ホテルの業績改善、新規ホテルの開業および開業に伴う開業準備金収入の計上が寄与

〔連結〕 (単位：百万円)	1Q期間	2Q期間	第2四半期 (累計)	前年同期	増減額
売上高	1,192	1,922	3,114	1,754	+1,360
営業利益	△58	89	31	△728	+759
経常利益	△107	47	△60	△778	+718
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△120	13	△107	△792	+686



- 日本人の延べ宿泊者数は新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前の水準に戻りつつある。
- 外国人は2022年10月以降の入国制限の大幅緩和により、回復が期待される。

## 国内全体の延べ宿泊者数の推移



(出展:観光庁・宿泊旅行統計調査)



# 成長戦略 – ホテル運営プラットフォームの拡大（国内）








- スポンサーと協働し、2023年3月期は8棟・1,280室の新規ホテルをリブランド開業
- フィー収入型の運営委託契約又は変動賃料で受託し、更なる損益分岐点の引き下げに寄与

2021年3月期

2022年3月期

<p>KOKO HOTEL 銀座一丁目 (305室)</p>	<p>KOKO HOTEL 札幌駅前 (224室)</p>	<p>KOKO HOTEL 福岡天神 (159室)</p>	<p>KOKO HOTEL 広島駅前 (250室)</p>	<p>KOKO HOTEL 鹿児島天文館 (295室)</p>	<p>KOKO HOTEL 築地 銀座 (188室)</p>	<p>KOKO HOTEL 大阪なんば (100室)</p>
						

2023年3月期

<p>KOKO HOTEL Premier 金沢香林坊 (297室)</p>	<p>KOKO HOTEL Premier 日本橋浜町 (223室)</p>	<p>KOKO HOTEL 名古屋栄 (204室)</p>	<p>KOKO HOTEL 大阪心斎橋 (211室)</p>	<p>KOKO HOTEL 神戸 三宮 (141室)</p>	<p>KOKO HOTEL Premier 熊本 (205室)</p>	<p>KOKO HOTEL Residence 田原町・かっぱ橋 (47室/42室)</p>
						

# 成長戦略 – 新ブランドラインの立ち上げ

- 当社のオリジナルブランドである「KOKO HOTEL」ブランドの新しいブランドラインとして「KOKO HOTEL Premier」・「KOKO HOTEL Residence」を新たに立ち上げ、ターゲット層の拡大を狙う。



KOKO HOTEL  
*Premier*

『KOKO HOTEL Premier』は、これまでのブランドの中でもワンランク上のご宿泊をお楽しみいただける新しいホテルブランドです。



KOKO HOTEL  
RESIDENCE

ファミリー・グループ客・長期滞在にも対応可能な、キッチン・洗濯機付きの客室で4名以上が同室に宿泊可能です。

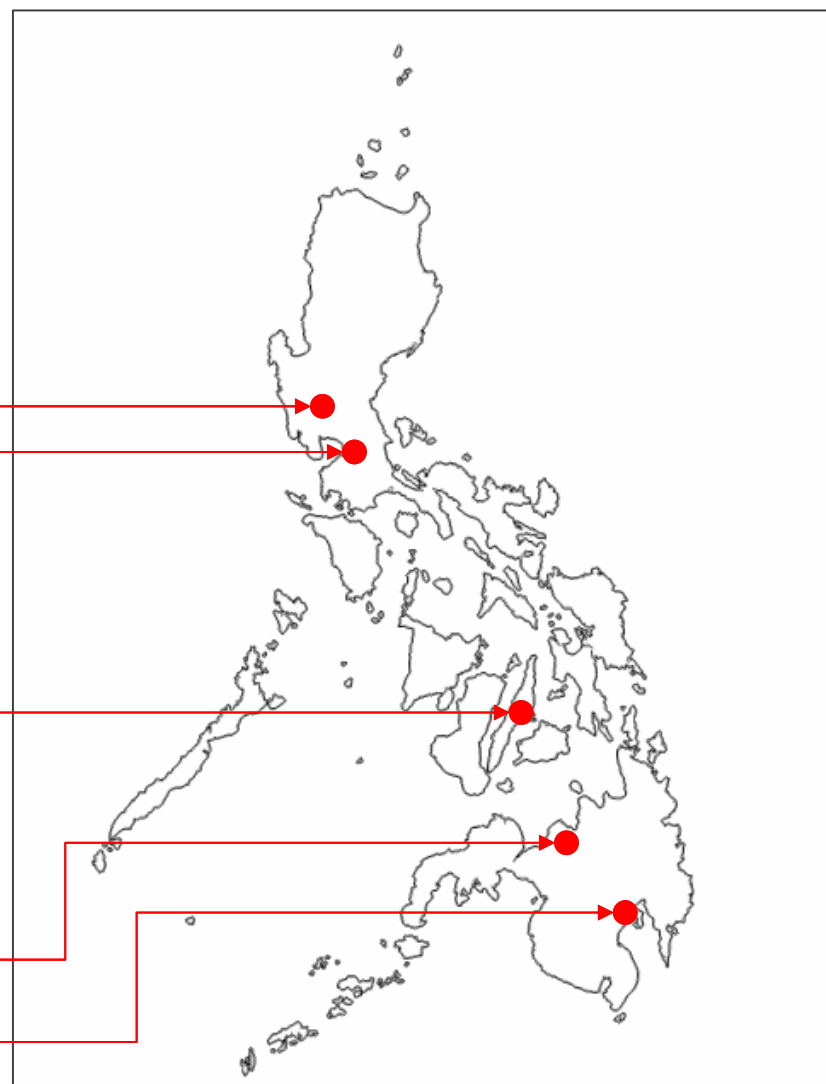


# 成長戦略 – ホテル運営プラットフォームの拡大（海外）

- フィリピン共和国において『Red Planet』ブランドの宿泊特化型ホテルを オーナー・オペレーターとして保有・運営する企業グループの株式取得し、子会社化予定。
- 子会社化により当社グループの運営ホテル数は、13店舗・2,208室増加する見込み。

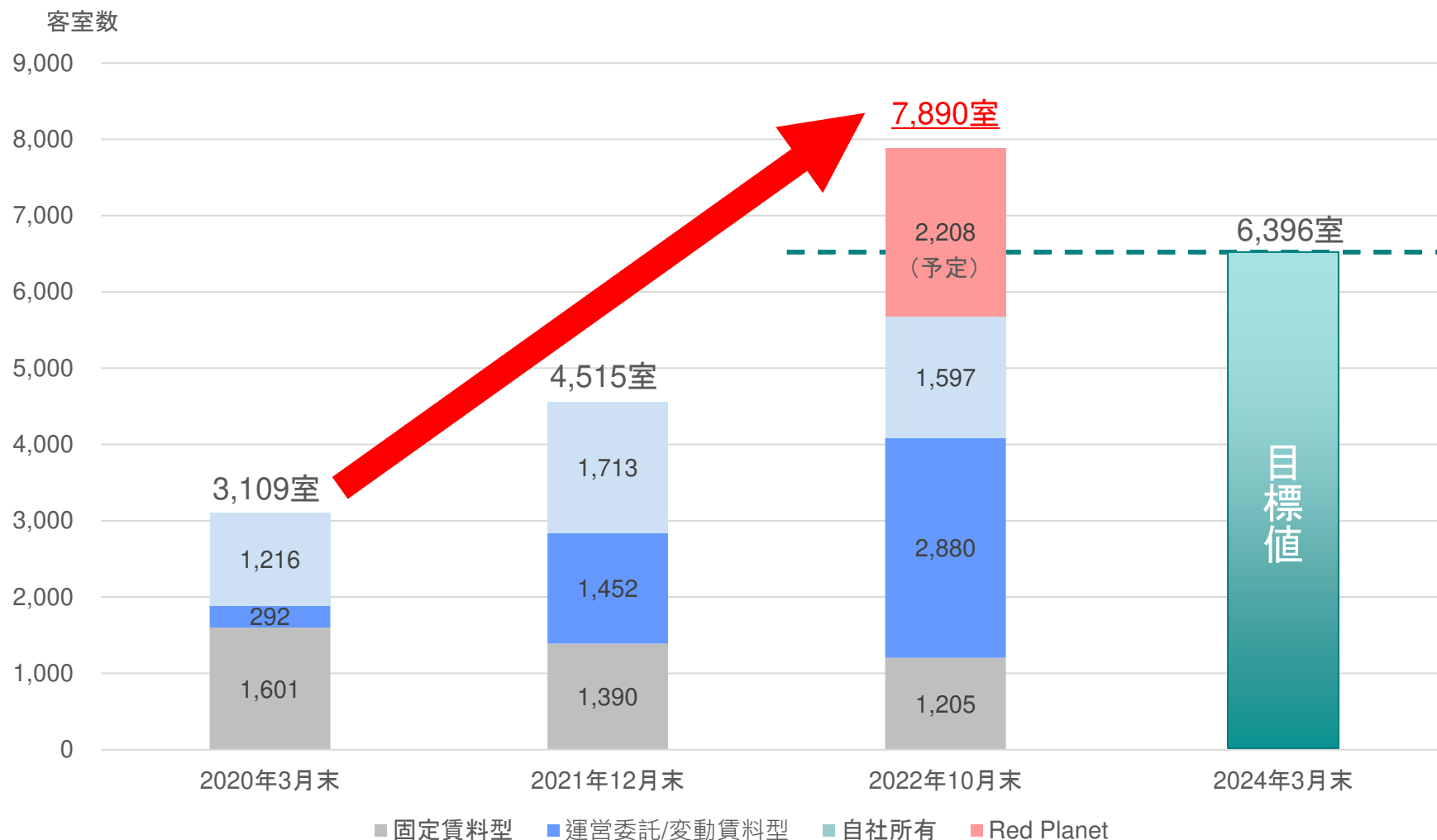


アンヘレス	
Red Planet Angeles City	165室
マニラ	
Red Planet Quezon Timog	140室
Red Planet Aurora Boulevard	167室
Red Planet Manila Binondo	171室
Red Planet Manila Bay	150室
Red Planet Manila Mabini	167室
Red Planet Manila Ortigas	182室
Red Planet Manila Makati	213室
Red Planet Manila Amorsolo	189室
Red Planet Manila Aseana City	200室
セブ	
Red Planet Cebu	150室
カガヤン・デ・オロ	
Red Planet Cagayan de Oro	159室
ダバオ	
Red Planet Davao	155室



# 成長戦略 – ホテル運営プラットフォームの拡大の進捗

- 成長戦略として掲げていた2024年3月末までに6,396室という目標を大幅に前倒しで達成。





# 財務基盤の安定化の取り組み

- 2021年11月に、新株式及び新株予約権の発行により約59億円を調達（未行使分含む。）
- 調達資金はさらなる運営プラットフォームの拡大に活用
- 調達資金のうち、財務基盤の安定化のため、約11.6億円を運転資金に充当することを決定

■親会社グループ及び当社取締役を含む割当先に対して28億円規模の新株の発行を行う。

・Star Asia Opportunity III LP	24,180,200株
・Four Quadrant Global Real Estate Partners	3,924,400株
・Hazelview Global Real Estate Fund	1,308,100株
・EVO FUND	1,162,700株
・Charlestown Energy Partners, LLC	639,500株
・その他 個人7名	

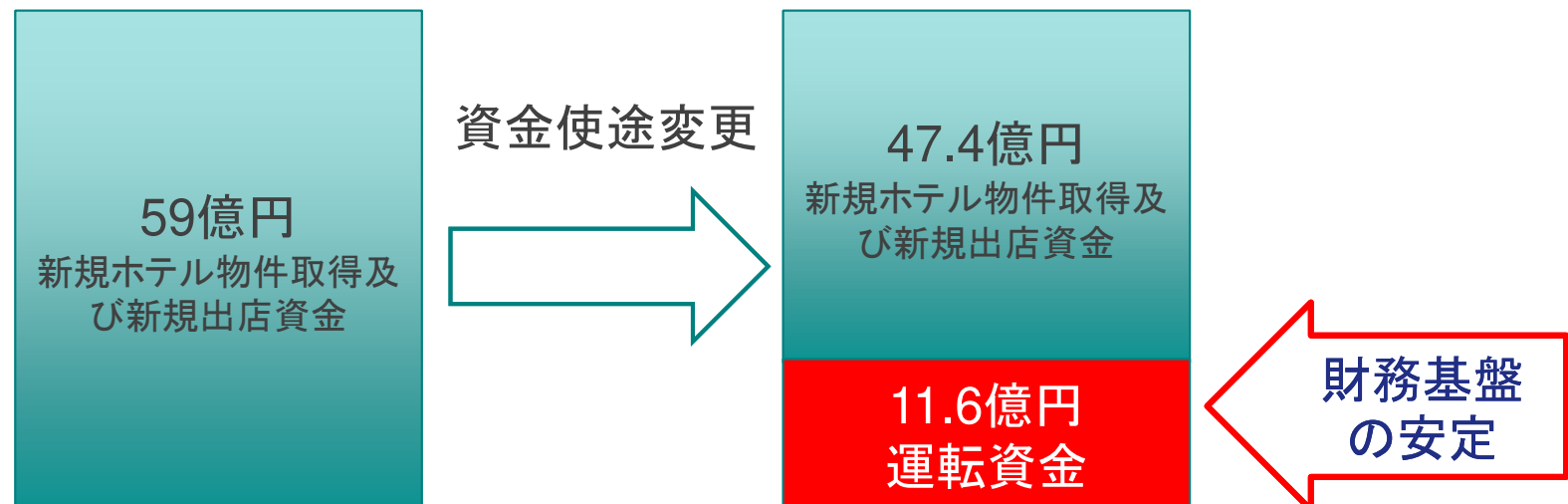
28億円  
新株発行

■親会社グループ及び当社取締役を含む割当先に対して最大31億円規模の新株予約権の発行を行う。

このうち、既に22億円の新株予約権の行使を受ける。

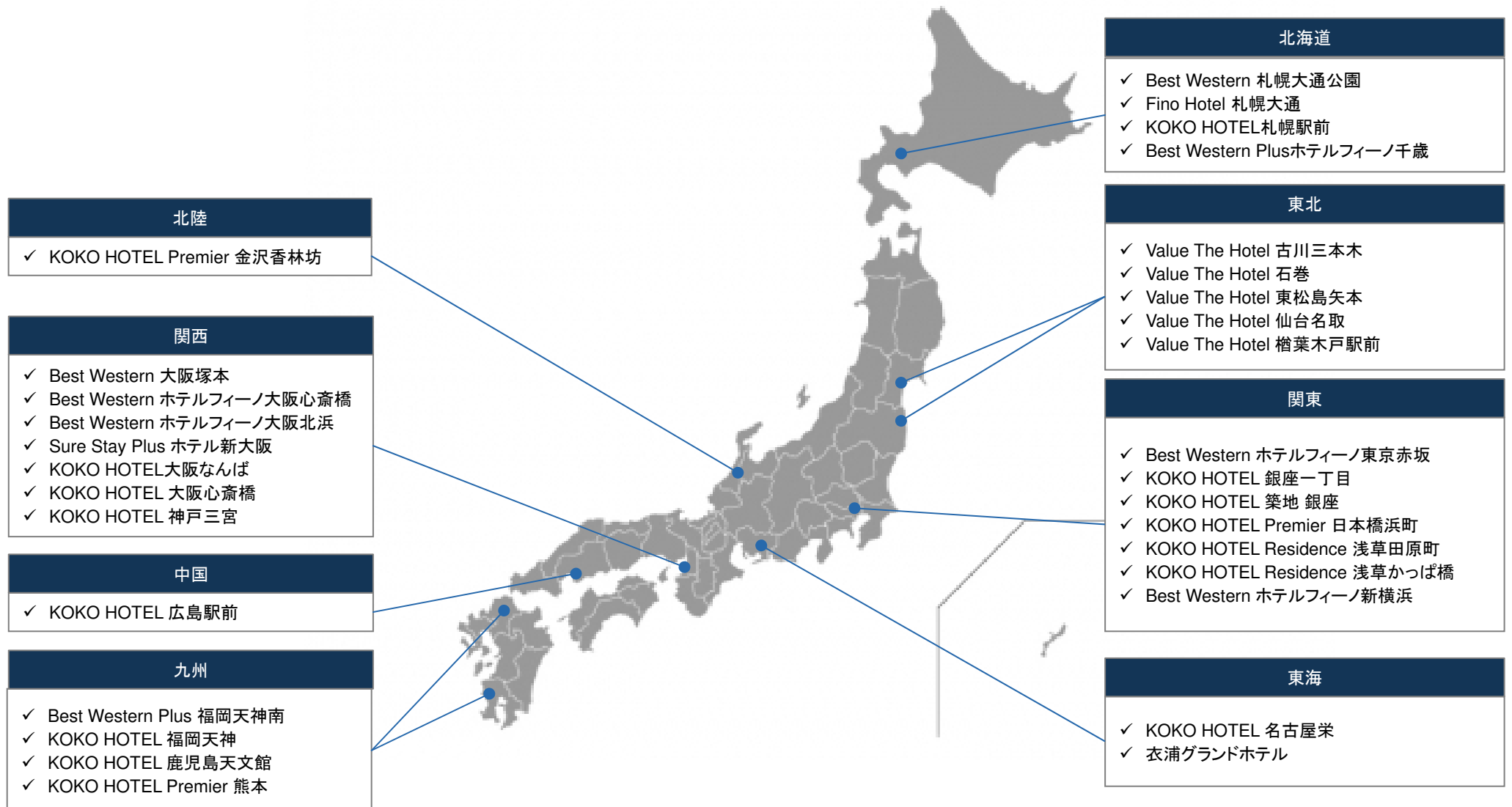
・Star Asia Opportunity III LP	241,802個
・Four Quadrant Global Real Estate Partners	39,244個
・Hazelview Global Real Estate Fund	13,081個
・EVO FUND	11,627個
・Charlestown Energy Partners, LLC	6,395個
・その他 個人7名 企業1社	

31億円  
新株予約権発行  
(22億円分行使済み)



# Appendix: ホテル展開マップ

全国31ホテル  
5,682室  
(2022年10月末現在)



## 本資料についての注記事項

- 本資料に掲載されている情報は、一定の前提を下に作成した将来の見通しに関する事項が含まれております。こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれており、経済情勢や市場の動向の変化等により、将来における当社の実際の業績と必ずしも一致するものではありません。
- 本資料は当社または当社と関連する会社の株式の購入や売却等、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身のご判断において行っていただくようお願いいたします。
- 情報・資料の掲載には注意を払っておりますが、掲載された情報の内容の正確性については一切保証いたしません。また、掲載された情報・資料を利用、使用、ダウンロードするなどの行為に関連して生じたあらゆる損害等についても、理由の如何に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。